

つまようじで作ったタワーの耐震性を競う高校生たち
=24日、熊本西区の崇城大



つまようじタワー頑張れ

高校生がつまようじで作ったタワーの耐震性を競うコンテストが24日、熊本市西区の崇城大であった。熊本地震を体験した生徒たちは、耐震の重要性をかみしめながら熱戦を繰り広げた。

ものづくりや建物の構造への関心を高めようと、崇城大建築学科が毎年開催。地震に伴い中止も検討したが、「建築のプロとしてできることをやろう」と実施に踏み切った。

工業科と普通科の2部門に16校54チームが出場。高

崇城大 高校生 耐震性競う

さ50センチ以上、重さ85キロ以下のタワーに重りを載せ、床に振動を与えて勝ち残りを競った。いずれも強度やデザインにこだわった労作で、倒壊を免れるたびに歓声が上がった。優勝した玉名工高と熊本北高は、10キロ以上の重りに耐えた。

倒壊せずに残った益城町の建物を参考にしたという東稜高2年の早川龍ノ介さん（熊本市）は、「地震を経験して災害に強い建物の大切さを知った」と話していた。（藤山裕作）